

連合 2016平和広島集会



「原爆の惨劇を三度繰り返してはならない！」

～全国から2千人を超える仲間が結集～



平和広島集会に参加された連合福島派遣団の皆さん

の大統領として初めて広島を訪問されたことを心より歓迎する。しかし、この原爆の惨劇を三度繰り返してはならない。連合は、世界で唯一の被爆国のナショナルセンターとして、これまで以上に核兵器の悲惨さと非人道性を広く世界の仲間に訴えていく。」と挨拶した。

続いて、平和の語り部として広島県原爆被害者団体協



平和の折鶴を献納する阿部事務局長

事務局長が代表して献納した。翌日派遣団一行は、広島市主催の平和記念式典に参加した後、原爆ドーム等を視察してから、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現のための運動を、職場・地域で取り組む決意を新たに、福島への帰路に就いた。

1945年8月6日、熱線と爆風、恐るべき放射線により一瞬にして14万人余りの尊い命が奪われた、人類初の原子爆弾が広島に投下されてから、今年で71年目を迎えた。

核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を求める、「連合2016平和広島集会」は8月5日（金）、広島文化学園HBGホールを会場に、全国から連合組合員など2,000名を超える参加者にて開催された。連合福島からは、派遣団として石川地区連合渡辺議長を団長に8名が参加した。

集会では、連合神津会長が主催者を代表して「5月27日にアメリカのオバマ大統領が現職



主催者を代表して挨拶する神津連合会長

による被爆体験証言の講演が行われた。さらに、次代を担う若者からのメッセージとして、高校生平和大使から「ビヨクけどムリヨクじゃない！」と、核兵器廃絶への想いをつないでいく決意が述べられた。最後に参加者全員で「平和アピール」を採択し、「原爆を許すまじ」を合唱して平和広島集会は閉会となった。

連合福島派遣団一行は平和集会に参加し、連合福島青年女性委員会

が中心となって作成した平和の折鶴を、阿部青年女性委員会事務局長が代表して献納した。翌日派遣団一行は、広島市主催の平和記念式典に参加した後、原爆ドーム等を視察してから、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現のための運動を、職場・地域で取り組む決意を新たに、福島への帰路に就いた。